

平成19年度 事務事業評価表		担当	消防本部 予防課				内線等	2112
事務事業名	焚火・花火の打上げ届出事務処理・指導事業			事業コード	5. 義務的事業			
根拠法令等	蒲郡市火災予防条例			B 条例				

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	消防・救急
------	---------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	市民等に対し
手 段	焚火・花火の打上げの届出により、火災予防上必要な指導を行い
想定する成果	火災発生や人身への被害防止を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
花火の届出件数	100件	96件	
焚火による火災件数	3件	2件	

成果指標

成果指標名	花火の届出件数	焚火による火災件数
成果指標の説明	花火の届出件数	焚火による火災件数

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		100件				96件							
成果指標		3件				2件							
事業費	事業費	0				0				0			
	人件費	1,557				1,562				1,569			
	(人数)	正規	0.2	非常勤	0.0	正規	0.2	非常勤	0.0	正規	0.2	非常勤	0.0
	合計	1,557				1,562				1,569			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	1,557				1,562				1,569			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	3	2	2	花火の届出件数に対し、人身事故等は指導により抑えられているが、焚火が原因による火災が発生しており、今後、指導の強化を図る。
経済効率性	3	3	3	3	人件費のみにて予算計上しない。
事務効率性	3	3	3	3	届出の受付について、記載漏れ等なければ安全上の指導を行い当日審査し効率化を図っている。
必要性	-	3	-	3	義務的事業
小計	8	12	8	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	火災予防等の観点から直接関係者に対して指導ができる。
合計	11	12	11	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	B
------	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
焼却物の中に産業廃棄物を混入する場合があるので、焼却物の内容を詳細に聞くなど適切な指導をしていきたい。軽微なものと自己判断したり、消火前に火元を離れる等案件もあり、今後も啓発が必要。
上記改善点の実施状況
焚火の実施者(関係者)に対して常日頃から上記問題点について、適切な指導を実施している。

今後さらに改善すべき点

火災と紛らわしい煙等を発するおそれのある無届けによる行為を是正していくこと。
--

平成21年度予算に反映する項目

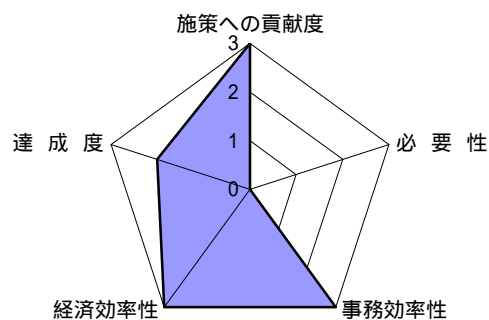
--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点